

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>先行事例調査の結果と第3回検討委員会における主な協議内容について、第2回定例会総合政策建設委員会における委員からの意見に対する議論の内容を含めて示していただきたい。</p>	<p>先行事例調査については、検討委員会における新たな総合体育館の検討に資するため、7月20日と21日に、和歌山ビッグウエーブ等において、メインアリーナやサブアリーナ、柔剣道場、諸室など、施設の規模や構成等について調査が行われたところ。 調査後、委員からは「施設のイメージを掴むことができ参考になった」などの意見が出されたところ。 この調査と併せて、7月21日に和歌山で開催した第3回の委員会においては、競技面数について、各種基準等に基づき議論していただき、メインアリーナはバスケットボールコート4面、サブアリーナは同2面、柔剣道場は柔道場2面、剣道場2面の計4面が適当とされたところ。 また、観客席の規模については、県議会第2回定例会の総合政策建設委員会において、より詳細な検討を求められたことから、国際大会の開催の目安となるアリーナ標準やコンサートの需要予測調査結果で示された8千席のほか、5千席、1万席の規模について比較、検討していただいたところ。 その結果、5千席規模の場合は、コンサートの開催実績がほとんどなく、1万席規模の場合は、地方部に立地している施設ではコンサートの開催頻度が落ちることが確認されたことから、8千席程度が適当であるとされたところ。</p>
<p>これまでの調査や検討委員会における議論を踏まえ、施設の機能や規模・構成及びその立地環境について、第4回検討委員会において、どのような検討結果に至ったのか示していただきたい。</p>	<p>9月13日に開催した第4回の検討委員会においては、同委員会におけるこれまでの検討結果を踏まえた施設のコンセプトについて協議し、委員間の共通認識が得られたところ。 具体的には、新たな総合体育館については、スポーツ振興の拠点として「する」スポーツをベースとしたアスリートファーストの施設とするとともに、「みる」スポーツや「ささえる」スポーツにも対応できる施設とすることにより、競技力の向上や競技人口の増加、県民、とりわけ子ども達への良質なスポーツ環境の提供を図ることとされたところ。 また、多目的利用による交流拠点として、コンサート・イベント等の開催を通じ、様々な人々が交流できる施設とすることにより、賑わいの創出や経済波及効果など地域活性化とともに、施設の収益性にも寄与することとされたところ。 施設の規模・構成については、メインアリーナがバスケットボールコート4面・観客席8千席程度、サブアリーナがバスケットボールコート2面、柔剣道場が柔道場2面・剣道場2面で計4面、弓道場が近的で12人立ち・遠的で6人立ちとされたところ。 また、このコンセプトに示された総合体育館の機能を最大限発揮させる観点から、その立地条件について検討した結果、交通利便性や宿泊・商業施設の集積状況などを踏まえると、鹿児島市に立地することが望ましいとされたところ。</p>

参考資料

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>検討委員会における施設の機能や規模・構成及び立地環境についての検討結果を踏まえ、整備候補地はどのように選定し、いつ頃検討委員会に提案するのか示していただきたい。</p>	<p>整備候補地の選定に当たっては、第4回の検討委員会において、委員から、駐車場の確保や周辺住宅への影響のほか、全国大会やコンサートなど、多数の来場者が短時間に移動することを想定した周辺道路の状況などについて考慮すべきであるとの御意見をいただいたところ。</p> <p>今後、施設のコンセプトやこれらの意見も踏まえた上で、土地の現状や都市計画法等の関係法令との関連も含め、鹿児島市とも連携を図りながら、整備候補地の選定を行うことになると考えている。</p> <p>次回の検討委員会は11月の開催を予定しており、そこで複数の整備候補地を提案し、御論議いただきたいと考えている。</p>
<p>プロフィットセンター化及び収益性について、県の見解を示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、先日開催した第4回の検討委員会において、施設のコンセプトについて御議論をいただき、「する」スポーツをベースとした「アスリートファースト」の施設とするなど、スポーツ振興の拠点機能を軸として、整備に向けた検討を進めていくことで、委員間の共通認識が得られたところ。</p> <p>昨年度実施した需要予測調査においては、このようなスポーツ利用の割合が高い施設については、一定の指定管理料を自治体が負担して運営を行っている状況が確認されたところ。</p> <p>一方で、こうした施設においても、収支の改善を図るため、イベントや大会誘致などにより収入を上げる取組がなされており、本県における新たな総合体育館についても、多目的利用など収益性を高める方策について、積極的に検討してまいりたい。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>建設地については、機能や規模が決まってからとされているが、街なか立地、スマートシティ、賑わいを創り出す交流施設などの視点からの立地を考えていくのか、建設地の立地について、県の見解を示していただきたい。</p>	<p>整備候補地の選定に当たっては、第4回の検討委員会において、委員から、駐車場の確保や周辺住宅への影響のほか、全国大会やコンサートなど、多数の来場者が短い時間に移動することを想定した周辺道路の状況などについても考慮すべきであるとの意見をいただいたところ。 今後、施設のコンセプトやこれらの意見も踏まえた上で、土地の現状や都市計画法等の関係法令との関連も含め、鹿児島市とも連携を図りながら、整備候補地の選定を行うことになると考えている。</p>
<p>本県にはプロバスケのチームがあり、総合体育館はBリーグの会場にもなると考えられる。また、体育館建設がVリーグなどの県内プロチーム結成の後押しになることも期待されると考えるが、「みる」スポーツについて、県の見解を示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、大規模スポーツ施設の在り方検討委員会の提言において、「みる」スポーツの視点として、国際・全国レベルの競技大会やプロスポーツの開催ができる機能、一流のアスリートの競技を間近に観戦できる機能などが望まれるとされたところ。 先日開催した第4回の検討委員会において、「みる」スポーツに必要な機能として、観客、選手、大会運営者それぞれの立場から、座席や映像・音響設備、動線、諸室等の整備について御意見をいただき、これらを含む施設のコンセプトについて、委員間の共通認識が得られたところ。 県としては、観客、選手、大会運営者それぞれにとって利便性の高いレイアウトや動線となるよう、引き続き検討委員会において検討を行っていただきたいと考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>総合体育館を造り変えることの意義と県内におけるスポーツ振興を図るための整備についてアピールすることが必要と考えるが、知事の見解を示していただきたい。</p>	<p>現在の県体育館は、築後60年以上経過しており、老朽化に加え、全国・国際レベルの競技大会の開催等には狭隘であるなどの課題を有している。</p> <p>このため、現在多くの屋内競技の県大会等において、複数会場での分散開催や、夜間に及ぶ大会運営を強いられており、参加者や関係者に多大な負担が生じている。</p> <p>また、県内には全国・国際大会の基準を満たす施設がないことから、これらの大会の誘致に支障が生じている。</p> <p>こうした状況から、県内17の屋内スポーツ競技団体の全てが、新たな総合体育館について、屋内スポーツ競技の中核的な施設としての整備を望んでおり、実現に向けた取組を着実に進める必要があると考えている。</p> <p>新たな総合体育館の検討委員会については、報道機関をはじめ一般の方々にも全て公開で行っており、その検討状況については、県議会でも御論議いただいているところ。</p> <p>さらに、検討委員会の資料や議事録についても、県のホームページで公開し、県民の皆様への周知を図っているところ。</p> <p>今後とも、新たな総合体育館の整備については、県民の皆様の御理解が得られるよう、積極的な情報発信に努めてまいりたい。</p>
<p>県外施設視察では、委員の意見等から、県の視察目的が達成されたと考えるのか示していただきたい。</p>	<p>先行事例調査については、新たな総合体育館の規模・構成を検討するに当たり、委員に施設のイメージを掴んでもらうために実施したところ。</p> <p>具体的には、7月20日と21日に、和歌山ビッグウエーブ等において、メインアリーナやサブアリーナ、柔剣道場など、施設の規模や構成について委員による調査が行われたところ。</p> <p>当初調査を予定していた大阪市中央体育館については、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、現地調査を見送ったところであるが、施設の詳細が把握できる関係者向けの動画を提供していただいたことから、和歌山の会場において確認を行い、施設の規模感や奥行きなどを、ある程度実感することができたと考えている。</p> <p>委員からは、「施設のイメージを掴むことができ、参考になった」などの御意見をいただいたところであり、目的は達成できたと考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>総合体育館のコンセプトの方向性はできたのか、また、整備予定地の検討はいつ頃から行うのか、示していただきたい。</p>	<p>第4回の検討委員会においては、これまでの検討結果を踏まえた施設のコンセプトについて協議し、委員間の共通認識が得られたところ。</p> <p>具体的には、新たな総合体育館については、スポーツ振興の拠点として「する」スポーツをベースとしたアスリートファーストの施設とするとともに、「みる」スポーツや「ささえる」スポーツにも対応できる施設とすることにより、競技力の向上や競技人口の増加、県民、とりわけ子ども達への良質なスポーツ環境の提供を図ることとされたところ。</p> <p>また、多目的利用による交流拠点として、コンサート・イベント等の開催を通じ、様々な人々が交流できる施設とすることにより、賑わいの創出や経済波及効果など地域活性化とともに、施設の収益性にも寄与することとされたところ。</p> <p>施設の規模・構成については、メインアリーナがバスケットボールコート4面・観客席8千席程度、サブアリーナがバスケットボールコート2面、柔剣道場が柔道場2面・剣道場2面で計4面、弓道場が近的で12人立ち・遠的で6人立ちとされたところ。</p> <p>このコンセプトに示された総合体育館の機能を最大限に発揮させる観点から、その立地条件について検討した結果、交通利便性や宿泊・商業施設の集積状況などを踏まえると、鹿児島市に立地することが望ましいとされたところ。</p> <p>また、次回の検討委員会は11月の開催を予定しており、そこで複数の候補地について、御議論いただきたいと考えている。</p>
<p>知事が目指す新たな総合体育館の規模は、1万人規模なのか、8千人規模なのか、5千人規模なのか、つまり、どの程度の規模を考えているのか示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、各分野の専門家で構成する検討委員会を設置し、各委員の専門的な見地から、施設の規模・構成等について客観的に検討を行っていただいているところ。</p> <p>このうち、観客席の規模については、第3回の委員会において、国際大会の開催の目安となるアリーナ標準やコンサートの需要予測調査結果で示された8千席のほか、5千席、1万席の規模について検討していただいたところ。</p> <p>その結果、5千席規模の場合は、コンサートの開催実績がほとんどなく、1万席規模の場合は、地方部に立地している施設ではコンサートの開催頻度が落ちることが確認されたことから、8千席規模が適当とされたところ。</p> <p>また、第4回の委員会においては、この規模を含む施設のコンセプトと、これを踏まえた立地環境について、委員間の共通認識が得られたところ。</p> <p>観客席の整備内容については、今後、整備候補地が絞られた後に、8千席規模を基本として、施設のレイアウトや動線の検討とあわせて、具体の最大収容人数や固定席、可動席の割合などについて議論いただくことにしている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>観客席の規模に応じて候補地も絞られると考えるが、需要予測調査結果から類似施設の敷地面積をもとにシミュレーションした場合、県有地でいくつの候補地があるか、また、鹿児島市内の県有地では、どの程度の候補地があるか示していただきたい。</p>	<p>体育館の敷地面積については、観客席の規模だけでなく、例えば、駐車場の面積や、メインアリーナ・サブアリーナのフロア面積、柔剣道場・弓道場の有無、附帯施設の内容等につき大きく異なるところ。</p> <p>昨年度実施した需要予測調査結果から、類似施設の敷地面積について、観客席の規模別に整理すると、5千人規模の場合、最小で約8千平方メートル、最大で約4万平方メートル、平均で約2万8千平方メートルとなり、この平均値から該当する県有地を抽出すると、県有地全体で18箇所、うち鹿児島市内で3箇所となる。</p> <p>次に、8千人規模の場合については、最小で約1万平方メートル、最大で約3万8千平方メートル、平均で約2万3千平方メートル、この平均値から該当する県有地を抽出すると、県有地全体で20箇所、うち鹿児島市内で4箇所となる。</p> <p>1万人規模の場合については、最小で約2万平方メートル、最大で約4万6千平方メートル、平均値で約3万6千平方メートル、この平均値から該当する県有地を抽出すると、県有地全体で11箇所、うち鹿児島市内で1箇所となる。</p> <p>なお、これらの箇所数については、規模・構成等が異なる類似施設の平均値をもとに機械的に抽出したものであり、例えば、それぞれの敷地面積の最小値で抽出した場合は、更に箇所数が増えるなど、前提となる条件次第で容易に変動しうることから、この数値をもとに、新たな総合体育館の候補地数を推計することは困難であることを申し添えさせていただきたい。</p>
<p>他県の類似施設における5千人・8千人・1万人規模の建設費用と運営状況について示していただきたい。</p>	<p>体育館の建設費や運営状況については、観客席の規模だけでなく、建築年次や立地、メインアリーナ・サブアリーナのフロア面積、柔剣道場・弓道場の有無、附帯施設の内容等につき大きく異なるものである。</p> <p>需要予測調査における類似施設の建設費について、観客席の規模毎に整理した本体工事費のみで申し上げますと、5千人規模の場合、最小で約90億円、最大で約110億円、平均で約100億円、8千人規模の場合、最小で約110億円、最大で約140億円、平均値で約120億円、1万人規模の場合、最小で約270億円、最大で約360億円、平均値で約310億円程度となる。</p> <p>また、運営状況について、利用料収入と運営支出の平均値で申し上げますと、5千人規模の場合、収入が約3千万円、支出が約1億8千万円、8千人規模の場合、収入が約1億3千万円、支出が約1億8千万円、1万人規模の場合、収入が約3億円、支出が約6億1千万円となる。</p> <p>なお、建設費及び収支については、サンプルとなる施設数が少なく、開示されているデータも限られており、さらには施設の規模・構成や建築年次も様々であることから、これらの数値をもとに新たな総合体育館の建設費や収支を推計することは困難であることを申し添えさせていただきたい。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>① 施設のコンセプトを踏まえた最低限必要な面積と同規模の県有地は、鹿児島市内ではどこか示していただきたい。</p> <p>② 商業施設の集積という立地条件を満たしている県有地は、鹿児島市内ではどこか示していただきたい。</p> <p>③ 交通利便性について、利用の多い交通手段毎に適地とされる場所は、鹿児島市内ではどこか示していただきたい。</p> <p>④ 鹿児島港から遠い会場とは鹿児島市内のどこの会場のことか、過去の事例を具体的に示していただきたい。併せて、鹿児島港から要する時間、距離で許容できる範囲の考え方と条件を満たす候補地を示していただきたい。</p> <p>⑤ 鹿児島市と具体的にどのような協議をするのか、併せて、県が選定作業をする際に、鹿児島市からの提案等が新たな候補地となることもあり得るのか、また、まちづくりの観点から協議は行うのか示していただきたい。</p>	<p>施設のコンセプトを踏まえた立地環境については、先日開催した検討委員会において、立地環境として必要とされた交通利便性、宿泊施設・商業施設の集積について県内の状況をお示しして検討した結果、鹿児島市に立地することが望ましいとされたところ。</p> <p>また、同委員会では、鹿児島市郊外や市外の会場において、離島の中高生に表彰式の途中退席や延泊等が発生していることを説明したところ。</p> <p>整備候補地を選定するに当たっては、検討委員会において、委員から、駐車場の確保や周辺住宅への影響のほか、全国大会やコンサートなど、多数の来場者が短時間に移動することを想定した周辺道路の状況などについて考慮すべきであるとの御意見をいただいたところ。</p> <p>今後、施設のコンセプトやこれらの意見も踏まえた上で、土地の現状や都市計画法等の関係法令との関連も含め、鹿児島市とも連携を図るとともに、交通利便性、宿泊・商業施設の集積など、検討委員会で御議論いただいた立地環境も考慮し、整備候補地の選定を行うことになると考えている。</p> <p>なお、施設の面積については、整備候補地を絞り込んだ後、コンセプトを基に、当該候補地に合致したレイアウトや動線を検討する中で、明らかになっていくものと考えている。</p> <p>このように、新たな総合体育館の整備候補地については、様々な視点からの検討が必要であり、今後、具体的な整備候補地について、着実に選定を進めてまいりたい。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>① ユニバーサルデザインを目指した新国立競技場の取組と、多様な立場の意見を反映させるインクルーシブデザインの取組がもたらす効果について、認識を示していただきたい。</p> <p>② 新国立競技場の観客席は、ライブ時は約8万8千席、オリンピックやラグビーで使用する場合は6万8千席で、いずれも車椅子席が5百席設置されている。新たな総合体育館の座席数を8千とすると、車椅子席は少なくとも40から60席程度は確保する必要があると思うが、考えを示していただきたい。</p> <p>③ 障害者に対応可能なトイレや発達障害者等のためのカームダウン・クールダウン室など徹底したユニバーサルデザインの考え方に立って整備すべきと考えるが、見解を示していただきたい。</p> <p>④ 障害者などの当事者が設計段階から議論に参加し、多様な立場の意見を反映させるインクルーシブデザインの考え方を取り入れることについて、既に広島市のサッカースタジアム計画でも進められている。この手法は、本県における今後のまちづくりの充実に大きく貢献するものと考えているが、知事の見解を示していただきたい。</p>	<p>ユニバーサルデザインへの配慮については、新たな総合体育館の整備に当たって重要な視点であると認識しており、これまで検討委員会においても、様々な御意見をいただいているところ。</p> <p>先日開催した第4回の検討委員会においては、これらを踏まえ、今後の検討に当たっての視点として、障害者や高齢者を含む全ての方々が利用しやすい施設になるよう配慮することを盛り込んだ整備コンセプトについて、委員間の共通認識が得られたところ。</p> <p>具体的なユニバーサルデザインへの対応については、基本構想策定後の基本設計や実施設計の段階において、先進事例の対応状況等も踏まえつつ、関係者等からの御意見も伺いながら検討していく必要があると考えている。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>整備に当たっては、県民の共有財産であると受け止めてもらえるような整備でなければならないと考えるが、ユニバーサルデザインに限らず何をレガシーとするかを含め知事の思いを県民に伝えることが必要だと思うが、知事の見解・決意を示していただきたい。</p>	<p>新たな総合体育館については、先日開催した第4回「総合体育館基本構想検討委員会」において、屋内競技の中核的な施設として整備することにより、競技力の向上や競技人口の増加、県民、とりわけ子ども達への良質なスポーツ環境の提供を図ることとされたところ。</p> <p>また、多目的利用による交流拠点機能として、コンサート・イベント等の開催を通じ、様々な人々が交流できる施設とすることにより、賑わいの創出や経済波及効果など地域活性化とともに、施設の収益性にも寄与することとされたところ。</p> <p>今後、これら施設のコンセプトを踏まえ、具体的な整備内容について検討を進めることとしており、新たな総合体育館が、屋内競技の中核をなし、子ども達をはじめとするすべてのアスリートにとって、ここから全国・世界に羽ばたいていくシンボリックな施設として、また、コンサート・イベント等を通じ、様々な人々が思い出を創れるような施設として、長年に渡り親しまれ、県民の皆様が誇れる施設となるよう、しっかりと取り組んでまいりたい。</p>

本会議における論議の状況（令和3年第3回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

質問要旨	答弁要旨
<p>新たな総合体育館の整備は、真に必要なのか、具体的な理由をもって、知事の考えを示していただきたい。</p>	<p>現在の県体育館は、築後60年以上が経過しており、老朽化していることに加えて、体操競技やハンドボールでは大会規定に適合する競技面積を確保できないこと、バスケットボールやバレーボールなどでは使用できるコート数が少ないことなど、多くの競技で大会を実施するには狭隘であるという大きな課題を有している。</p> <p>また、現在、本県には、他にも県大会等の開催に十分な競技面積を有する屋内スポーツ競技施設がないことから、バスケットボールなどでは、複数の会場で大会を分散開催せざるを得ないほか、バドミントンなどでは、試合の消化が進まず大会の終了時刻が夜間に及ぶなど、効率的な運営ができないことで、選手や関係者に多大な負担が生じている。</p> <p>例えば、熊毛・奄美の中高生は、船舶を利用して大会に参加しているが、会場が鹿児島市外の場合や大会が夜間に及ぶ場合などにおいて、出港時間に間に合わず、表彰式の途中退席や延泊などを強いられている実態があると聞いている。</p> <p>また、県内には全国大会や国際大会の基準を満たす施設がないことから、県民の皆様は、一流のアスリートの競技を間近に観戦できる機会を満足に提供できないという状況にある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、県内に17ある全ての屋内スポーツ競技団体が、新たな総合体育館について、屋内スポーツ競技の中核的な施設として整備することを望んでいる。</p> <p>このため、県としては、県民の皆様、とりわけ将来を担う子ども達に良質なスポーツ環境を提供するためにも、国際大会にも対応できる快適な競技環境を有する施設の整備に取り組まなければならないと考えている。</p> <p>新たな総合体育館の整備については、多額の費用を要することが想定されており、有識者や県議会の御意見もお聞きしながら、丁寧に検討を進める必要があると考えている。</p> <p>私としては、現在の県体育館の老朽化や狭隘への対応は先送りできない課題であり、基本構想の策定後、民間資金の活用可能性調査、基本設計・実施設計、建設など、供用開始まで6、7年という相当の期間を要することを踏まえると、新たな総合体育館については、早期に、整備に向けた道筋をつけたいと考えている。</p>